

平成28年度

ちょっといいはなし 春色

3月

中国・経済日報 東京支局長

ソ カイ ガ
蘇 海河さん



卒業前の特別授業：世界友だちプロジェクト

「世界に巣立つ三谷の子」

～明日は君たちのもの～

3月17日(金) 多目的室(公開参観)

13:30～14:30

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、東京には世界中から多様な人々が集まります。世界の多くの国々の様々な人種や言語、文化や歴史、スポーツなどを学ぶことで、いろいろな価値観を尊重できる三谷の子に育ててほしいということがあります。

東京都が進める「世界ともだちプロジェクト」に一国一校ならぬ、五国一校運動があります。中国、チリ、トンガ、ジョージア、ザンビアが三谷小学校の「世界ともだちプロジェクト」として窓口に示されました。

その一つ「中国」のメディアに勤務される「蘇 海河氏」を迎えてお話をする機会を得ました。中国は隣の国です。日本に大きな影響を与えてきた中国文化、世界4大文明の一つに数えられる歴史のある国、戦争という中で向かい合った国、スポーツでも経済でも日本と並び、時に上を行く国でもあります。その中国の話は向う絶好のチャンスです。私たちがなかなか知ることのできない中国や中国の人々の話を聞きながら、もっと身近に、もっと親しくなれるようになれるといいなと考え、企画しました。

蘇さんは、何を聞いても応えてくれると思います。いつもニコニコしながらも、何十年も日本のこと、世界のことを分析してきた方です。ぜひこれを聞きたい、ここを教えてほしいという前向きな姿勢で臨める60分にしてほしいです。

東京オリンピック・パラリンピックの時、6年生は、18歳。選挙権がもてるような年齢になります。しっかりと自分が語れるように、また、自信をもって行動ができるように、学ぶチャンスです。

卒業まであとわずかな三谷小学校での時間です。はなむけの言葉ならぬ、三谷小学校が贈るはなむけの授業として受け取ってもらおうと考えています。「明日は君たちのもの」。学校生活もあと30日を切った今、中学生になっても人のために、自分のために努力ができる「日本で生きる・三谷小出身」の若者たちに育ててほしいという願いを込めて。

連絡先： 副校長 若尾美暢

3390-0164